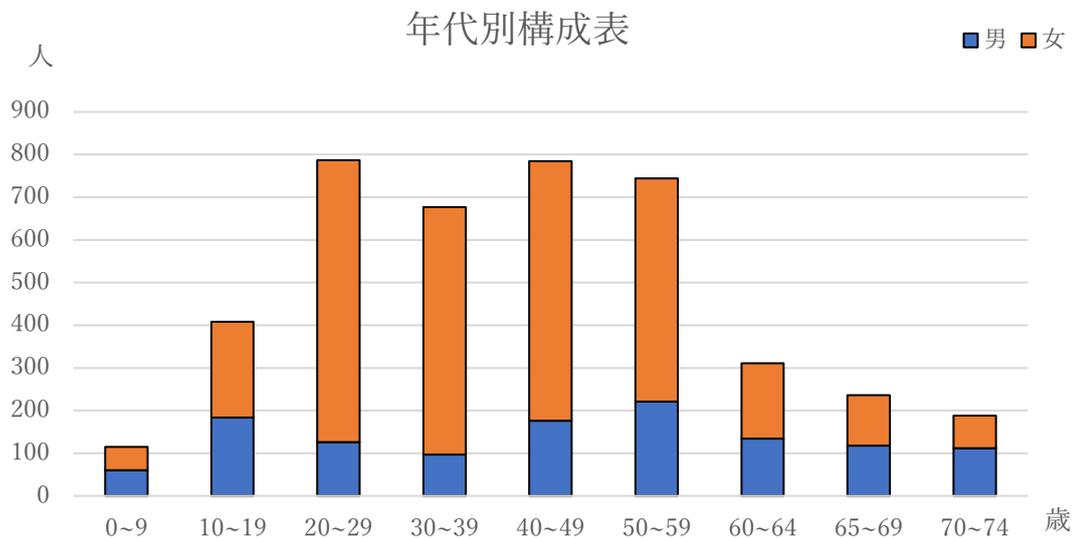


歯科医師国保組合の集団としての疾病特徴や被保険者の健康状態

1. 被保険者の年齢構成

当組合の被保険者は令和4年12月末現在、0歳から74歳までで男性が1,309名、女性が3,115名の計4,424名。そのうち男性は50歳代が17%、40歳代・10歳代がそれぞれ14%、60～65歳代10%で半数以上を占めている。一方女性は20歳代～50歳代で8割を占めており、男女の年代別で占める割合に大きく差がある。これは歯科医師およびそこに勤務する歯科衛生士という職業的特徴からきている。また、特定健診の対象である40歳から74歳までの被保険者数は男性761名、女性1,503名の計2,264名となり、全体の半数以上を占めており10年前の34%より大幅に増加した。



2. 入院の分析

令和4年10月診療分の1ヶ月の100万円を超える高額レセプトは6件で、うち3件はがん、1件は整形疾患、1件は脳疾患となっている。10年前より件数は倍増している。入院件数は36件で、今回の特定健診の目的である予防可能な生活習慣病が病名になっているものは4件と10年前より半数に。入院件数に関しては10年前と差ほど変わりはないが医療費は右肩上がりで増額しているので一人当たりの点数が増加していると推測される。

3. 生活習慣病の状況（0～74歳の令和4年10月診療分より）

被保険者に占める生活習慣病対象者は15.1%

基礎疾患では高血圧41.4%、脂質異常症38.0%、糖尿病19.4%、高尿酸血症9.5%、虚血性心疾患7.1%となっている。高血圧は脳卒中の最も危険な要因であり、脳血管疾患や心疾患の予防には高血圧のコントロールが重要である。

4. 被保険者の健康状況

（1）健診受診状況

令和3年度の40～74歳の受診率は約64%（男性約62%、女性約31%）である。当組合の場合、熊本県歯科医師会が健康診断を各郡市で実施しているため、比較的受診しやすい傾向にあり、このような高い受診率になっていると思われる。

（2）健診有所見者状況

男性は中性脂肪、HbA1c、GPT、LDL コレステロールの有所見者が多く、女性はLDL コレステロール、HbA1cの有所見者が多い。男女ともに割合の高かったLDL コレステロール血症は動脈硬化やそれを促進する因子のひとつでもあるので、原因と対応を考える必要がある。

5. 被保険者の特徴

当組合の被保険者は比較的若い世代で構成されており、全体で見ると生活習慣病対象者は15.1%と少ないが10年前と比較すると倍増している。また、年齢が高くなるごとに、高血圧、高脂血症等の該当者が増えている現状を考えると若いうちからの予防が必要であり、更なる受診率アップを目指したい。